

2021年（7月～9月期）における海外安全対策情報

2021年11月
在オーストラリア日本大使館
ACT（首都特別地域）キャンベラ

1 ACT（首都特別地域）の治安情勢

今期のACT内における治安情勢は、同地域におけるロックダウンの影響に伴い、一般的に前年度の同時期に比して犯罪件数が減る等、比較的落ち着いた傾向が見受けられる。しかしながら、コロナ禍において自宅等で過ごす時間が増えたことにより、家庭内暴力の事案や、人の出入りが減少したショッप्ス、特に車両販売店での車両盗難の事案等が増加しています。

また、オンラインショップの利用が増加したことによる、郵便物の盗難被害も増加しているため、受け取り日時の指定や宅配業者との確実な受領手続きを行う等、引き続き安全（物品）対策に留意してください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪発生地域の傾向

ア 昨年度の同時期に比べ、ロックダウンの影響もあり全ての地域で減少傾向にあります。

イ 「地域別犯罪発生率の傾向」について

（2）犯罪発生件数と犯罪の傾向

ア ACTでの3ヶ月間の犯罪発生件数（括弧内は昨年同時期の発生件数）

・殺人、殺人未遂	:	2件（	5件）	-60%
・暴行	:	579件（	646件）	-11%
・性的暴行	:	96件（	139件）	-31%
・対人犯罪	:	61件（	102件）	-40%
・住居等侵入	:	460件（	446件）	+6%
・強盗	:	51件（	33件）	+54%
・窃盗	:	1714件（	1636件）	+4%
・車両盗難	:	317件（	268件）	+18%
・器物損壊	:	832件（	863件）	-4%
・その他の犯罪	:	2077件（	3047件）	-32%
・交通違反	:	1085件（	2237件）	-52%

ACT全体の犯罪発生件数は昨年同時期に比べ約23%減少しています。

イ 犯罪別の傾向

全般的に減少していますが、殺人（殺人未遂含む。）に関する犯罪が2件発生しています。強盗は昨年同時期に比べ大きく増加し、窃盗事件やその他の犯罪（薬物関連含む。）の犯罪は引き続き非常に多い発生件数が報告されておりますので、注意が必要です。

（3）今期の特性

8月12日から開始されたACT内ロックダウンの影響から、外出をする人が減少するとともに、対人犯罪及び交通事故等の発生率も合わせて減少しています。その

分、人通りが少なくなった地域において、強盗等の事案が増加し、また、人が不在となる店舗等を狙った侵入、窃盗事案が増加したものと見積もられています。

外を出歩く際は、周囲の安全を確認するよう、また深夜の一人歩き等を努めて避けるよう心がけをお願いします。

(4) コンプライアンス違反について

A C T保健省の公衆衛生指示に伴い、マスクの着用義務違反、不必要な外出に伴うコンプライアンス違反等で罰金を科せられる住民が増えています。引き続き、A C T政府等が発表する新型コロナウイルス感染症に伴う規制等について情報を収集するとともに、感染多発地域を回避する等の自己防衛に努めてください。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) テロ事件の発生状況

現在のところ具体的なテロの脅威を示す情報は把握されていません。しかしながら依然として豪州のテロの脅威レベルは「蓋然性あり (Probable)」を維持しています。インターネットを介したテロリストの活動が懸念されているとともに、今後、国境・州境の再開により、人の往来が盛んになれば、テロの脅威を取り巻く状況も一変する可能性もあることから、引き続き最新情報の入手に努めてください。

(2) 爆弾予告及び事件の発生状況

現在のところ爆弾に関連した事件の発生については認知していません。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

邦人誘拐等の被害については認知していません。

5 日本企業等の安全に関わる諸問題

一般的に対日感情は良好ですが、環境保護を標榜する団体等を中心とした抗議活動がこれまでに発生している他、L G B T Q等の性差別に関する抗議デモやワクチン強制接種反対、及び新型コロナウイルス感染症の政府対策への反発を目的とした活動が確認されています。これまでのところ、キャンベラでは平和的な活動が行われており、かつロックダウン期間中は抗議活動が制限とされていたため、活動自体が縮小の傾向にありました。国境・州境の再開に伴い、こうした抗議活動が過激なものとなる可能性も否定できませんので、抗議活動等を見かけた場合は、決して近寄ることなく、巻き込まれないよう十分注意して下さい。

参考：

1. [A C T警察犯罪統計](#)
2. [A C T（首都特別地域）の事件発生状況（2021年7月～9月期）](#)